

学校教育目標
未来に向かって 心豊かにたくましく 自ら学ぶ生徒の育成

学校だより「この丘に」

発行：仙台市立南中山中学校
令和2年6月25日

校長 岡田 雅彦
生徒数 538名(令和2年6月1日現在)
〒981-3213 仙台市泉区南中山 2-26-1
TEL 022-376-3127 FAX 022-348-2358
URL <http://www.sendaic.ed.jp/~emuchu-x/>
e-mail emuchu-x@sendai-c.ed.jp

◇夢・感動・そして生徒の笑顔を創るために◇

校長 岡田 雅彦

春のセンバツに続き、夏の甲子園も中止が決定しました。新型コロナウイルス感染の勢いが収束に向かう中、感染リスクを考えての苦渋の決断だったようです。高校生にとっては、無念の思いでいっぱいでしょう。テレビ画面からは、苦悩を顔ににじませる監督の姿や悔しさを抑えきれずに泣きじゃくる球児、これまで支え続けてくれた両親に涙声で感謝する球児に、私はいつしかもらい泣きしていました。

令和元年度から3か月に渡った臨時休業が解除され、学校が再開しました。休業期間中は、保護者の皆様、地域の皆様のお心遣いやご配慮に助けられました。本当にありがとうございました。

学校教育の基本は、生徒が集まって一緒に学ぶことだと考えます。授業はもちろん、学校行事、生徒会活動、給食、清掃、部活動などにもそれぞれの教育的意義があります。今後少しずつ集まる機会を設け、感動を分かち合える環境を創っていきたいと思います。

一方、感染リスクをいかに低減させるかが課題です。重要なのは「手洗い・消毒」「マスクの着用」「換気」「人との距離をとること」。中でも難しいのは人との距離感です。いわゆる密にならないようそれぞれが気を付けるしかありません。生徒のためにできることとして、職員総出で放課後の消毒を徹底してまいります。

どうぞ保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おしらせ

○校納金の引き落とし日について

7月6日(月)は、第2回目の校納金の引き落とし日になっています。ご指定の口座のご確認をお願いいたします。

○地域の方から生徒用マスクをいただきました！

西中山のマルセイ自動車販売 鈴木成昭 様から、マスクを1000枚いただきました。鈴木さんは「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、子どもたちの学校生活にも影響が出ていると思います。少しでも役に立てられればと思いマスクを持ってきました。生徒の皆さんで使ってください。」と話していました。

マスクは一人分ずつビニールに入れ、担任から配付します。

○夏季休業期間 8月8日～8月18日

行事予定 7月の学校行事予定です。今後の状況により変更する場合があります。

日	曜	予 定
1	水	眼科検診(全学年)
7	火	生徒総会資料読み合わせ 歯科検診(3年1組～4組)
9	木	中央委員会
10	金	専門委員会
13	月	尿検査回収予備日
14	火	中間テスト
15	水	職員会議のため部活動中止
17	金	会議のため部活動中止
21	火	歯科検診(3年5組, 2年1組～3組)
23	木	(祝)海の日
24	金	(祝)スポーツの日
30	木	耳鼻科検診(1年・3年)

「今ある環境で何ができるか」

「あれがない、これがないではなく、今ある環境で何ができるかを考える。アーチェリーを続けてこられたのも『自分に残された何をせばできるか』を考えてきたから。」これは、ロンドンパラリンピック(2012)・アーチェリー日本代表の永野美穂選手の言葉です。

アーチェリーは、通常両手を使いますが、彼女は左腕を動かさないため、右手で弓を持ち、口で矢をくわえ弦を引くという独特なフォームになります。彼女が矢を的中させるためには、両手で競技している人以上に、安定度を高めなければならず、高い集中力が要求されます。時にはくじけて諦めそうになったり、自分を責めたりするなど、辛い経験もありました。このような経験を積みながら、少しずつ自分の障害に向き合うようになり「自分に残されたものをどう使うか」「今ある環境で何ができるか」という考えにたどりついたのです。

人は、困難な状況に置かれた時、自分がないことや足りていないことを理由に、諦めたり逃げ出したりすることがあります。彼女のこの言葉は、ないものや足りないものに目を向けるのではなく、「今あるものに目を向け、自分に何ができるのか」そして「それを最大限にどう生かしていくのか」という視点で、物事を捉えることの大切さを教えてくれているような気がします。